

正木直彦 あきまさ 美術行政家。文久二年十月（一八六二）和歌國生れ、昭
 和十五年二月（一九四〇）（一八六二—一九四〇）。幼名政吉。號十三松堂。明治一
 十五年帝國大學生法科大學法法科卒。奈良縣尋常中學校校長を務めたの
 ち、文部大臣秘書官、文部省視學官、文書總長兼美術課長を経た。第一
 高等學校教授となる。三十四年兼京大美術學校校長に就任、四十年文展
 審査委員會主事、大正八年帝國美術院幹事、昭和八年同院長。帝國學
 士院會員。

著書『ヨチニ松堂年譜』（昭和十一年二月十二日相模書房）、『回
 顧七十年』（昭和十一年四月二十五日學校美術協會出版部）等の他、
 學友と花鏡三郎の『ヨチ花文學』續稿』（明治二十六年一月）『七七正
 木直彦編刊』を出版、またおん學鑑てい著『羊養集』（昭和四年十二月序、無
 刊記）、自筆版『惠の齋翁と御物誦讀文紙』（昭和七年四月八日正木直
 彦編刊）の私家版がある。

